

東日本大震災等からの復興に向けた 友好協力協定の締結

7月1日(土)JAふくしま未来農業協同組合、生活協同組合コープおおいた及びエフコープ生活協同組合は、協同組合原則のひとつである“協同組合間協同”として県域、組織の枠を超えた“友好協力協定”を結びました。

友好協力協定は、現在も続けている農産物の安心安全に関する情報発信、組合員や役職員の人的交流活動の促進、大規模災害時の相互協力態勢の確保などをさらに活発化させることを目的として締結されました。

JAふくしま未来の菅野孝志組合長は「震災という危機に手を携えて対応した。この連携を発展させたい」、青木博範理事長からは「福島を忘れないための活動を続けたい」、エフコープ堤新吾専務理事からは「復興はこれから。物的、精神的な支援を続けたい」とそれぞれ述べました。締結式は、コープふくしま今野順夫理事長が立会人を務めました。

■合意事項 (友好協定書抜粋)

第2条 この協定が円滑に運用されるよう、日常において緊密な連絡体制を構築し、次の各号に掲げる事項を協議する。

- (1) 農産物の安全・安心を確保するための情報の共有及び広報に関する事項
- (2) 食農・食育活動に関する事項
- (3) 農産物等の取引に関する事項
- (4) 組合員及び役職員の人的交流活動に関する事項
- (5) 大規模災害の発生時における相互協力に関する事項
- (6) 前各号に定めるもののほか、必要と認められる事項



菅野孝志 組合長と



“友好協力協定”の楯



友好協力協定調印式の様子



ふくしま物産展